

科目名 Course Name	パラスポーツ論 Adapted Sport Therapy			ナンバリング No.	G1-001		
年次	1年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	斉藤 智子						
連絡方法	C-Learning に対応、非常勤講師室						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2, DP4						
授業の概要と到達目標	パラスポーツについての知識や経験を得ることにより、各介護・医療施設や指導現場において、対象となる障がい者の身体機能や行動を判断することで、適切な配慮や介助及び補助が安全に行える人材となる。さらに障がい者を取り巻く制度や各種大会の理解を習得することで、スポーツ フォア オールという全人的で発展的な広い視野を持てる指導者としての人材育成を目指す。						
授業の方法	協会の作成した教本内容を中心に授業を進め、理解度を深めるための補足資料やDVD、ネット上動画等の視聴覚教材を活用する。また、生徒参加型のディスカッションやブレインストーミング等を多用して、活気ある授業形態に努める。						
学習成果	L01	授業に前向きに取り組み、障がい者政策や障がい区分等の知識をえること。					
	L02						
	L03	我が国の障がい者政策の変遷を理解して、リハビリテーションの一環としてスタートした医療的「障害者スポーツ」が現在では「パラスポーツ」として発展・進化している状況を理解して、指導者としての役割を知る。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の課題や試験結果について、次の授業でフィードバックする						
教科書/参考図書	「障がいのある人のスポーツ指導教本(初級・中級)」(財)日本パラスポーツ協会編						
履修上の留意点やルール等	指定されたクラスで履修すること。授業中水分補給は可とする。事前事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分間とする。						
担当教員の実務経験	日本パラスポーツ協会 公認上級障がいスポーツ指導員(1987年～現在に至る)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	出席率や積極性や発言などの受講態度から判断する。	40			
レポート/作品	パラスポーツに対してレポートを書き、理解度の確認をする。			30	
発表					
小テスト					
試験	テキストを中心とした内容の理解度を確認する。			30	
その他					
合計		40		60	

回数		授業計画
1	授業内容	パラスポーツのインテグリティと指導者に求める資質
	事前・事後学習	教科書を購入しパラスポーツの意義と理念について予習 教科書確認
2	授業内容	パラスポーツの意義と理念
	事前・事後学習	全国パラスポーツ大会の歴史を予習 教科書確認
3	授業内容	全国パラスポーツ大会の概要
	事前・事後学習	パラスポーツ推進の現状と課題を予習 教科書確認
4	授業内容	パラスポーツ推進の取り組み
	事前・事後学習	パラスポーツに関する諸施策を予習 教科書確認
5	授業内容	パラスポーツに関する諸施策
	事前・事後学習	指導者の安全配慮義務、ヒヤリハットについて予習 教科書確認
6	授業内容	安全管理
	事前・事後学習	障がいについて予習 教科書確認
7	授業内容	各障がいの理解①身体障がい(肢体不自由)
	事前・事後学習	障がいについて予習 教科書確認
8	授業内容	各障がいの理解②身体障がい(視覚・聴覚障がい)
	事前・事後学習	障がいについて予習 教科書確認
9	授業内容	各障がいの理解③身体障がい(音声言語・内部障がい)
	事前・事後学習	知的障害について予習 教科書確認
10	授業内容	各障がいの理解④知的障がい
	事前・事後学習	精神障がいについて予習 教科書確認
11	授業内容	各障がいの理解⑤精神障がい
	事前・事後学習	コミュニケーションスキルの予習 教科書確認
12	授業内容	コミュニケーションスキルの基礎
	事前・事後学習	テスト問題の要点を予習
13	授業内容	テスト対策 授業内容のおさらい
	事前・事後学習	テスト対策
14	授業内容	筆記テスト
	事前・事後学習	テスト結果
15	授業内容	パラスポーツ論 まとめ
	事前・事後学習	今までの振り返り